

施策	5302 生涯スポーツの推進							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民全般							
施策が目指す姿	市民の健康・体力作りやスポーツに親しむきっかけづくりとなる各種大会・教室等の開催等を図ります。							
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会参加者数 (H25年度の大会参加者数は、市教育委員会開催大会参加者数で、大会開催委託事業参加者数が含まれていなかったため、追加修正) ・スポーツ教室参加充足率 							
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 [人]	予定	9,700.00	10,200.00	11,000.00	13,000.00	15,000.00	
		実績	23,775.00	27,097.00	21,808.00	17,366.00	15,412.00	
	成果指標2 [%]	予定	62.00	65.00	70.00	75.00	80.00	
		実績	90.00	91.00	91.00	80.04	88.40	
		単位コスト	724.51	796.30	850.77	777.34	698.98	
	成果指標3 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	76,822	71,823	79,222	62,615	70,116		
	実績	65,206	72,463	77,420	62,218	61,790		
内 部 評 価	貢献度	上位基本施策の目標指標「大会・教室への市民満足度」を向上させるためには、各種大会や教室の開催が必要であることから本単位施策の目標達成による貢献度は高い。						
	達成状況	施策目標である「スポーツ大会参加者数」は大会参加人数の見直しと天候による開催中止により減少したが、「教室参加充足率」とともに目標値を達成することができた。						
	課題	大会参加者数は目標値に達しているとはいえ減少をしている。天候などの理由もあるが事業のPRを強化し更に多くの市民がスポーツに親しむことが望ましい。						
	取組方針	スポーツ大会や教室に健康づくりや地域活動、文化、観光等+ のコラボレーション企画を取り入れさらに多くの市民が参加できるよう検討を図る。						
外 部 評 価	<p>施策目標はいずれも達成しており評価できる。</p> <p>合併後の取組みである市を縦断するウォーキング大会などは、生涯スポーツの推進に加え、市の一体感の醸成や各地域の相互理解の促進といった副次的な成果も期待されるものと思料される。</p> <p>内部評価にもあるように、地域活動、文化、観光などとの連携により、市民が興味を持って参加できる取組みが期待できることから、そのような視点から新たな事業の掘り起こしを進められたい。</p>							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	555101	スポーツ振興課一般経常事務費				8,711	100	
	555104	スポーツ振興事務費(都賀)				827	100	
	555601	少年スポーツ振興事業費				2,881	100	
	556304	生涯スポーツ振興事業費(都賀)				1,376	100	
	556306	生涯スポーツ振興事業費(岩舟)				5,652	100	
	737201	第77回国民体育大会開催関係事業費				505	100	
	556305	生涯スポーツ振興事業費(西方)				532	99	
	555701	中高年スポーツ振興事業費				832	96	
	556302	生涯スポーツ振興事業費(大平)				3,105	85	
555301	スポーツ大会開催委託事業費				21,675	84		

平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	5302 生涯スポーツの推進		
区分	妥当性	妥当	対象・手段・意図・目的とも妥当である。
	コスト削減の余地	有	大会、教室競技を減らさずにコストを下げることは可能と考えるが参加料を値上げすると参加者が減少する可能性もあり内容の工夫が必要である。
	受益者負担	適正	スポーツ大会・教室の開催により、高齢者の健康増進と維持青少年の健全育成に貢献度が高い。
	上位貢献度	有効	スポーツ大会・教室の開催により、高齢者の健康増進と維持青少年の健全育成に貢献度が高い。
	類似事業の有無	無	他に類する事業で代替は困難である。
	成果向上の余地	有	大会、教室開催の際、市民への情報提供、地域スポーツ活動指導者の育成を図るなど成果向上の余地は残る。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	上位基本施策の目標である、市民が日常的にスポーツ活動に取りこがえるよう、市民のニーズに応じた様々なスポーツ機会の提供と自主的かつ積極的にスポーツに参加する意識の醸成づくりには、各種大会や教室の開催が重要であり、本単位施策による貢献度は高い。	
	達成状況	H28年度より市民スポーツフェスティバルの参加人数集計方法を見直したことに加え、平成29年度はウォーキング大会や地域の体育祭など多くの参加が見込まれる事業において雨天の中での開催や事業そのものが中止となったことから参加人数が減少したが、「教室参加充足率」とともに目標値に達することができた。	
	課題	より多くの市民が参加できる大会の内容の検討が必要である。また、外部評価で指摘がありました、福祉施策や健康増進施策と連携することにつきましては、平成30年度には共催企画を行う方向で検討をしております。	
	取組方針	中高年向け事業の充実を図り、健康増進につなげていくこと、また気軽に参加しやすいスポーツ大会や教室の開催、利用しやすいスポーツ施設の有効活用等、生涯にわたりスポーツを楽しめることが環境を整える。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	ことができるよう、市民のニーズに応じた様々なスポーツ機会の提供と自主的かつ積極的にスポーツに参加する意識の醸成づくりには、各種大会や教室の開催が重要であり、本単位施策による貢献度は高い。	
	達成状況	過去5年とも目標値に達しているが、大会参加者数の算出の仕方を修正したり、目標値が実績に対して低かったことから、今後はきちんとした算出方法により、今後も新たな目標設定により進めていくとともに市民に飽きられぬよう更なる魅力あるスポーツイベントを目指すべく検討を図っていききたい。	
	課題	市民1スポーツの観点から、多くの市民がスポーツに関心を持ち、気軽に参加できる環境を創っていくことが大切と考える。そうしたことから市民へのPRは非常に大切であり、スポーツに興味がわく魅力的なPR方法を更に検討していききたい。	
	取組方針	スポーツに+αの要素を加え、例えば+観光、福祉、健康、市民協働、文化活動等々とコラボレーションを図ることなどを検討していききたい。コラボレーションにより参加人数増加に相乗効果が図れるのではないかと思料するものである。	